

ひめだ高宏ミニニュース

日本共産党 和歌山市公議員

No.1270

19.11.19

またもなく11月定例会市議会が

東の五輪予選を兼ねた野球の第2回プレミニアは日本が韓国を破り初優勝。五輪の野球は、わずかのチームで争うのか。11月定例会市議会の日程発表は、決めるのは、11月20日(月)に開かれることになったので、11月定例会市議会は20開会の日定に。

カジノ問題学習会

11月16日(土)午前10時

11月16日(土)午前10時

カジノ問題学習会



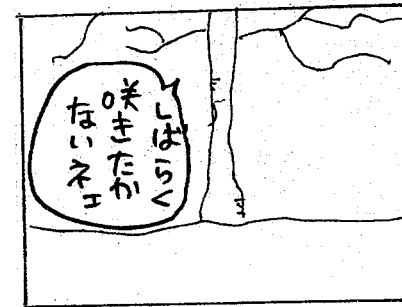
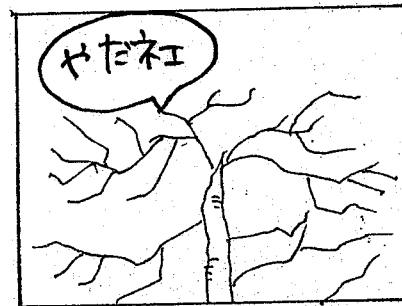
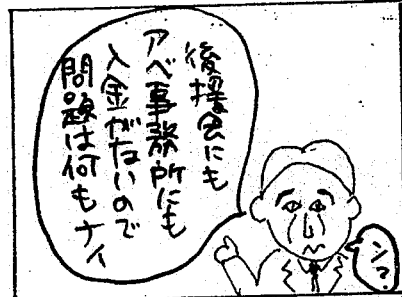
講師 奥村のり子 議員

この学習会が開かれたカジノ問題学習会に参加しました。講師の奥村のり子議員は、奥村議員は、知事がカジノ誘致に前のめりになっていってしまっている。奥村議員は、知事がカジノ誘致に前のめりになっていってしまっている。奥村議員は、知事がカジノ誘致に前のめりになっていってしまっている。

フワのフワ



<1053>



は国保の職員に入りを上回る4人をIR誘致推進室に配属しているとのこと。奥村議員はカジノ実施法の問題点として、①規模も内容も規制も運営もカジノ業者の胸にすく、②世界最大のはたさを持つカジノ誘致、③成功しても失敗しても負担は住民・国民に、④ターゲットは日本国民の財布、⑤全財産が奪われる危険、⑥カジノ業者がカジノ管理委員会を指図、⑦ギャンブル依存症対策は歯止めにならないこと、⑧カジノは、IRは成功させたないこと、⑨諸外国のIRに比べて誘致率が低いこと、⑩IRの誘致を

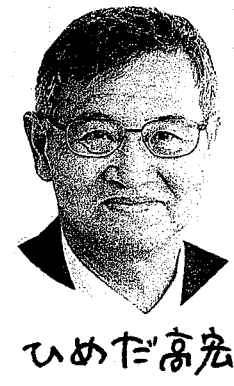
示して指摘しました。参加者からは、ギャンブル依存症になっていって知人がいなくなると、新たなギャンブル施設を誘致するといふのが不安が述べられ、

今週のフワのフワ

(No. 216)

も達入の影響が心配の意見がありました。またIRに多額の予算を使うより観光地や駅のトイレなどの整備に予算を割くべきとの意見も述べられました。

今週のフワのフワは、奥村議員が、知事がカジノ誘致に前のめりになっていってしまっている。奥村議員は、知事がカジノ誘致に前のめりになっていってしまっている。奥村議員は、知事がカジノ誘致に前のめりになっていってしまっている。



ひめだ高宏

奥村議員は、知事がカジノ誘致に前のめりになっていってしまっている。奥村議員は、知事がカジノ誘致に前のめりになっていってしまっている。奥村議員は、知事がカジノ誘致に前のめりになっていってしまっている。

職員処分だけで済むのか？

「11月18日、総務局入事課から」「職員の処分について（報告）」「ご届きました。市の公井工事事務終了した業者から地域への協力金名目と現金をいただきます。として、井筒海産物の盗み取りが詐欺金目録と見せられた事件の受けつけ職員の処分をめぐり調書の結果、①契約業者から受けた相談に対する職員の不適切な対応について、福

用の放置について、局長2名、部長2名、課長1名の訓告、課長2名、館長1名、再任用4名の懲戒処置で、処分者は合計22名。処分は、おまけには市の公井工事をめぐる井筒海産物の盗み取り詐欺事件ですが、今年9月に盗み取りの取り組みが完了した市の取り組みがその結果となっており、その結果としてきた市長・副市長らの責任が問われつつあることは問題です。

日本共産党



思いやり予算増額要求 時事通信は、トランプ政権が2021年度以降の在日米軍駐留経費の日本側負担（思いやり予算）について、年約80億ドル（約8640億円）

への増額を要求したことが分かったと報道。現状の約4.5倍に当たる金額です。関係者によると、トランプ大統領補佐官（国家安全保障担当、当時）が来日した際、日本側に通達したとのこと。21年3月末に期限切れを迎える現行協定では、日本側は基地内で働く日本人従業員

の入件費や水道光熱費などとして平均約1800億円を負担。来年には改定交渉が本格化する見通しで、関係者は「米側は交渉の主導権を握るため、意図的に高い金額を要求した可能性がある」と指摘。トランプ政権は韓国に対しても駐留経費負担の倍化を要求。

潮流

(9.11.16日赤旗)

かつての癒着や腐敗は往々にして「族議員政治」といって、それは「バラマキ」の形をとっていた。ところが、安倍政権の癒着は「私物化」に変質して、政治家の「私物化」が「私物化」の国家「私物化」の「バラマキ」は「バラマキ」で、しかも「弱者」に対しては「弱者」に対しては「弱者」の「首相特権の」「お友達」について特権的な地位にある入札の、行政をめぐり「便覧」図。その「形態」になっていくと「典刑」ともいえる「権威の会」がどのくらい中止に迫るか、来月。税金で賄う公的行事に「首相の接見員が多数招待されている。共産党・田村議員議案の通り「一週間、前夜祭をくぐり」感動は「くぐり」ていませぬ。●「招き寄せ」

とめには関与していかないと張り首相。しかしこの会のための「アー」全般を後援会の事務所が手配していたことは複数の参加者の証言からも▼「この問題も安倍首相をなげれば済むのではない」。暴引きを許す「真相究明を求めた共産党の「真相究明を求めた共産党の体面」についても「おまけ」の私物化してきた▼「しんぶん赤旗」日曜版記者の「丹念な取材、列島」の「強」の共産党の「共産党」の「権」をたたき「国」の「市民と野党の共闘」が「あり、事態を動かして」ます。権力監視は「メディア」の役割。今後も「観念」を「と」の「日曜版編集長」の「新しい時代の共同」の「むかし」の「政」の「まで」

赤旗 日刊紙日曜版の「新」の「共産党」